

トピック — カット野菜の消費動向調査 (Web調査) の概要① —

近年、需要が堅調なカット野菜（簡便野菜（キャベツの千切り等）、鍋物セット、野菜カップサラダ、ポテトサラダの4種類に分類）について、消費者の購買行動の特徴を当機構が実施したWeb調査（平成25年11月）をもとに紹介する。

カット野菜の購入先（複数回答可、以下同じ）としては、回答者の約9割がスーパーマーケット・生協等と最も多く、次いでコンビニエンスストアも約4割を占めたが、百貨店・デパート、弁当屋・惣菜店は約1割であった。

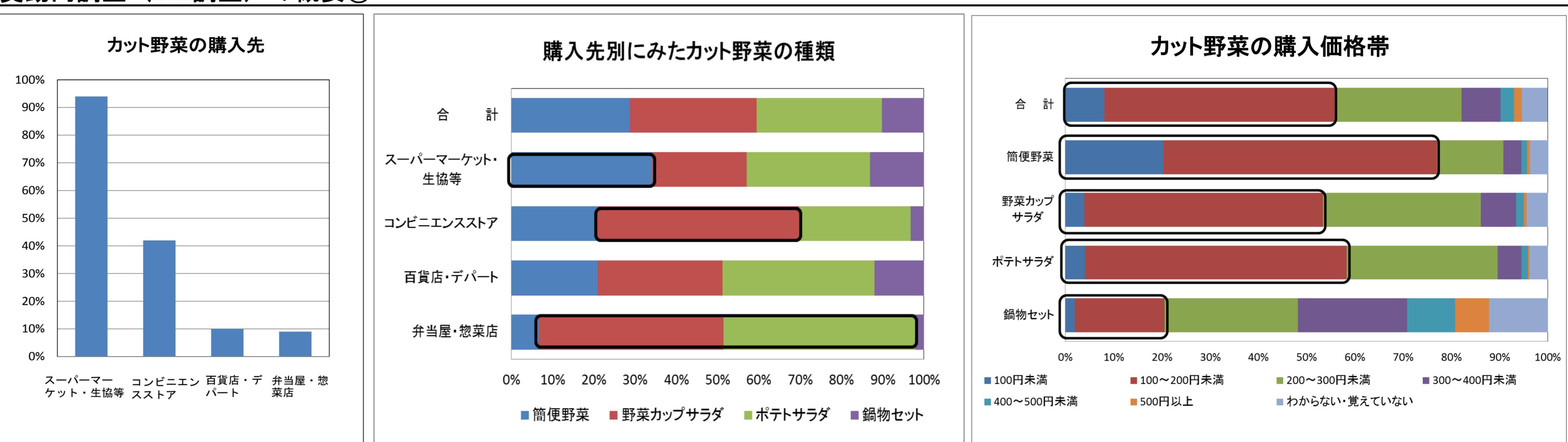
購入先別に購入する種類の違いをみると、スーパーマーケット・生協等では、簡便野菜の購入が比較的多く、コンビニエンスストアでは、野菜カップサラダの購入が約5割、弁当屋・惣菜店では、野菜カップサラダやポテトサラダの購入が約5割を占めるなど、購入先の違いで特徴がみられる。

カット野菜の一品当たりの購入価格は、全体では、200円未満の割合が約6割を占めている。種類別では、簡便野菜では約8割、ポテトサラダでは約6割が200円未満となっており、鍋物セット（200円未満の割合：約2割）を除けば、生鮮野菜の購入と同様に、比較的購入しやすい200円未満の価格帯が中心となっている。

カット野菜の1か月当たりの購入頻度は、簡便野菜、野菜カップサラダ、ポテトサラダでは、1回以上の購入が約5割を占めている。

このうち、簡便野菜と野菜カップサラダの購入頻度を購入者の属性別にみると、独身・単身者男性層が高く、専業主婦層では相対的に低いものの、専業主婦層でも一定割合は高い頻度で購入している。

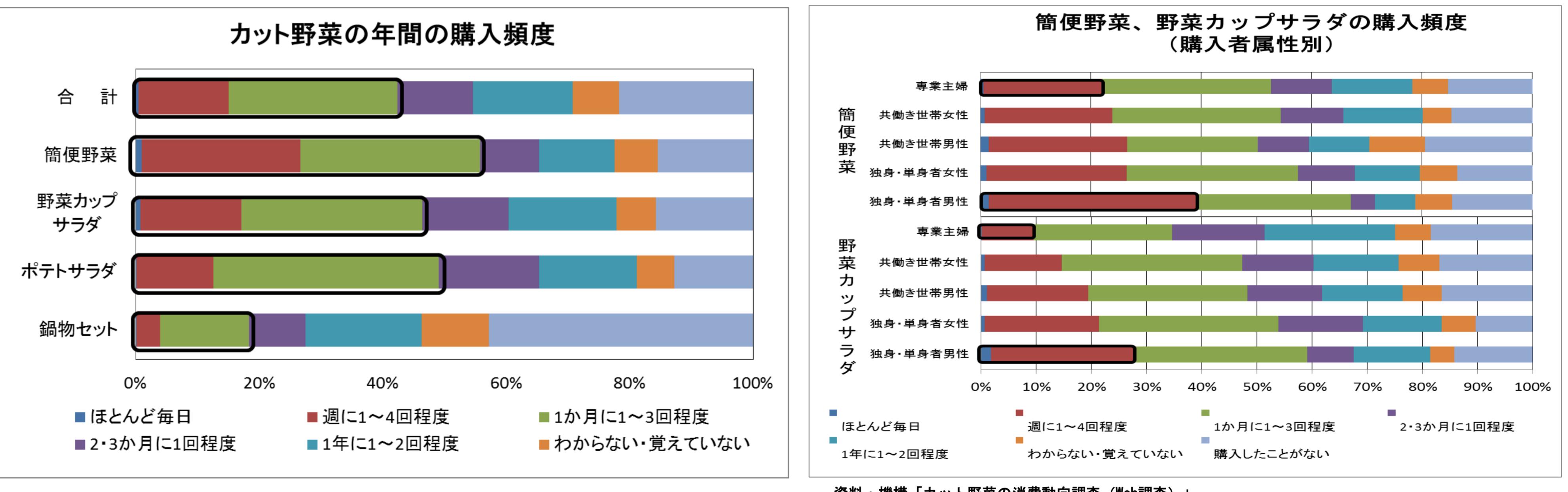
このように、カット野菜の購買行動は、需要が伸びるなかで多様化しており、これらの特徴も踏まえながら、国内産地の供給体制づくりが求められている。



資料：機構「カット野菜の消費動向調査 (Web調査)」

資料：機構「カット野菜の消費動向調査 (Web調査)」

資料：機構「カット野菜の消費動向調査 (Web調査)」



資料：機構「カット野菜の消費動向調査 (Web調査)」

資料：機構「カット野菜の消費動向調査 (Web調査)」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 前川、河原、斎藤、鈴木 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はページのトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。